



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL http://www.fujitec.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一 (TEL) (072) 622-8151

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	125,297	2.2	9,131	△14.1	10,234	△7.2	7,504	1.0
29年3月期第3四半期	122,578	△5.3	10,628	△3.2	11,026	△6.0	7,430	2.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,037 百万円 (— %) 29年3月期第3四半期 4,078 百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	93.06	92.98
29年3月期第3四半期	92.29	92.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	180,301	109,932	54.7
29年3月期	173,007	103,847	53.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 98,589 百万円 29年3月期 92,564 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
30年3月期	—	15.00	—		
30年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	2.1	10,500	△17.2	11,500	△12.3	8,300	△3.1	102.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	93,767,317株	29年3月期	93,767,317株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	13,071,099株	29年3月期	13,162,003株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	80,645,232株	29年3月期3Q	80,518,799株

(注) 期末自己株式数には、従業員持株会支援信託E S O Pとして保有する当社株式を含めて表示しています。

30年3月期3Q 364,200株 29年3月期 455,300株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されていない業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第3四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～ 2016年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (2017年4月1日～ 2017年12月31日)	前年同四半期比 (%)
売上高	122,578	125,297	2.2
国内	44,796	47,148	5.2
海外	77,782	78,148	0.5
営業利益	10,628	9,131	△14.1
経常利益	11,026	10,234	△7.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,430	7,504	1.0
1株当たり四半期純利益	92.29円	93.06円	—

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、中国では、固定資産投資の伸び率が鈍化したものの、輸出や個人消費の拡大などで、安定した成長が続きました。その他のアジア地域や欧州では、景気は概ね堅調に推移し、北米では着実に景気が拡大しました。日本では、企業収益や雇用情勢の改善などから、緩やかな景気回復基調で推移しました。

昇降機業界におきましては、中国では、台数ベースの需要は安定して推移しましたが、競争の激化による価格低下圧力が継続しました。その他のアジア地域や北米では、需要は概ね堅調に推移しました。日本では、引き続きホテル向けが増加し、マンションの販売戸数も持ち直すなど、総じて需要は堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間の国内市場は、新設事業では、ホテルや店舗向けを中心に、受注が増加しました。既設エレベータの安全性・快適性を高めるモダン化事業では、最新の安全基準に適合させる「安全向上パッケージ」を主力とした販売戦略の徹底により、受注は順調に増加しました。

海外市場では、南アジアの新設工事受注が減少しました。

以上の結果、国内受注高527億41百万円（前年同四半期比7.3%増）、海外受注高750億42百万円（同5.7%減）となり、受注高合計は1,277億83百万円（同0.7%減）となりました。なお、海外受注高は為替変動による影響を除くと、実質5.3%減となっています。

売上高は、国内売上高471億48百万円（前年同四半期比5.2%増）、海外売上高781億48百万円（同0.5%増）となり、合計で1,252億97百万円（同2.2%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質0.8%増となっています。

受注残高は、国内受注残高628億49百万円（前連結会計年度末比9.9%増）、海外受注残高1,254億57百万円（同1.6%減）となり、合計で1,883億6百万円（同1.9%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質2.4%減となっています。

損益面では、営業利益は東アジアでの減少により、91億31百万円（前年同四半期比14.1%減）、経常利益は、当四半期では為替差益へ転じたことにより、102億34百万円（同7.2%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は、102億38百万円（同7.0%減）となり、非支配株主に帰属する四半期純利益が減少し、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億4百万円（同1.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益または営業損失		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半 期比 (%)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	46,957	49,341	5.1	4,093	4,320	227
北 米	16,686	17,958	7.6	639	712	73
欧 州	290	364	25.2	△41	△55	△14
南アジア	11,543	12,348	7.0	1,437	1,645	207
東アジア	53,511	53,293	△0.4	4,415	2,586	△1,828
小 計	128,990	133,306	3.3	10,543	9,209	△1,333
調 整 額	△6,411	△8,009	—	85	△78	△163
合 計	122,578	125,297	2.2	10,628	9,131	△1,497

(日 本)

売上高は、新設、モダニゼーション事業ともに堅調に増加し、493億41百万円（前年同四半期比5.1%増）となりました。営業利益は、モダニゼーション事業を中心に増加し、43億20百万円（同2億27百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、新設やモダニゼーション工事の増加により、179億58百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。営業利益は、7億12百万円（同73百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質6.3%増となりました。

(欧 州)

売上高は、エレベータ新設工事の増加により、3億64百万円（前年同四半期比25.2%増）となりましたが、55百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失41百万円）となりました。

(南アジア)

売上高は、新設工事が減少しましたが、サービス事業の伸長により、123億48百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。営業利益は、サービス事業の売上高増加や採算性向上により、16億45百万円（同2億7百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質6.6%増となりました。

(東アジア)

売上高は、中国での新設工事の減少により、532億93百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。営業利益は、韓国での減少および中国での採算低下により、25億86百万円（同18億28百万円減）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質0.6%増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、1,803億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ72億93百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、投資有価証券の評価額が増加したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億8百万円増加し、703億68百万円となりました。これは主に、賞与引当金や工事損失引当金の減少に対し、支払手形及び買掛金、前受金が増加したことによります。

純資産額は、1,099億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ60億84百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加50億72百万円、その他有価証券評価差額金の増加13億11百万円によります。また、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.7%（前連結会計年度末比1.2ポイント増）となり、1株当たり純資産額は1,221.73円（同73.37円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年3月期（2017年4月1日～2018年3月31日）の連結業績予想につきましては、2017年11月10日に公表した予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,749	47,886
受取手形及び売掛金	50,455	51,430
商品及び製品	5,118	6,016
仕掛品	7,590	7,183
原材料及び貯蔵品	7,952	9,016
その他	7,972	7,802
貸倒引当金	△1,800	△2,113
流動資産合計	123,038	127,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,950	21,235
機械装置及び運搬具（純額）	3,315	3,795
工具、器具及び備品（純額）	1,778	1,833
土地	6,915	6,921
リース資産（純額）	10	9
建設仮勘定	2,523	482
有形固定資産合計	34,495	34,278
無形固定資産		
のれん	428	344
その他	3,464	3,490
無形固定資産合計	3,893	3,834
投資その他の資産		
投資有価証券	8,312	11,400
長期貸付金	507	501
その他	2,888	3,190
貸倒引当金	△128	△125
投資その他の資産合計	11,580	14,966
固定資産合計	49,969	53,079
資産合計	173,007	180,301

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,148	16,926
電子記録債務	4,529	4,845
短期借入金	3,774	4,880
1年内返済予定の長期借入金	329	557
未払法人税等	1,898	798
賞与引当金	2,845	1,232
工事損失引当金	7,214	5,435
その他の引当金	597	454
前受金	18,801	20,953
その他	8,964	9,511
流動負債合計	64,103	65,594
固定負債		
長期借入金	1,177	542
退職給付に係る負債	3,204	3,002
その他	674	1,228
固定負債合計	5,057	4,773
負債合計	69,160	70,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,568	14,568
利益剰余金	87,955	93,028
自己株式	△15,200	△15,102
株主資本合計	99,857	105,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,478	3,790
繰延ヘッジ損益	86	△18
為替換算調整勘定	△8,582	△9,127
退職給付に係る調整累計額	△1,276	△1,084
その他の包括利益累計額合計	△7,293	△6,439
新株予約権	61	61
非支配株主持分	11,222	11,282
純資産合計	103,847	109,932
負債純資産合計	173,007	180,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高	122,578	125,297
売上原価	94,231	98,067
売上総利益	28,347	27,229
販売費及び一般管理費	17,718	18,098
営業利益	10,628	9,131
営業外収益		
受取利息	623	704
受取配当金	131	159
為替差益	—	197
その他	275	271
営業外収益合計	1,029	1,332
営業外費用		
支払利息	46	59
為替差損	511	—
訴訟関連費用	—	99
その他	74	70
営業外費用合計	632	229
経常利益	11,026	10,234
特別利益		
投資有価証券売却益	—	20
固定資産売却益	12	7
特別利益合計	12	27
特別損失		
固定資産除売却損	35	24
特別損失合計	35	24
税金等調整前四半期純利益	11,002	10,238
法人税、住民税及び事業税	1,767	1,247
法人税等調整額	585	913
法人税等合計	2,353	2,160
四半期純利益	8,649	8,077
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,218	572
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,430	7,504

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	8,649	8,077
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	482	1,311
繰延ヘッジ損益	△10	△125
為替換算調整勘定	△5,233	△417
退職給付に係る調整額	190	192
その他の包括利益合計	△4,571	960
四半期包括利益	4,078	9,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,971	8,357
非支配株主に係る四半期包括利益	106	679

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	44,964	16,628	282	11,543	49,159	122,578	—	122,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,993	58	7	—	4,352	6,411	△6,411	—
計	46,957	16,686	290	11,543	53,511	128,990	△6,411	122,578
セグメント利益又は 損失(△)	4,093	639	△41	1,437	4,415	10,543	85	10,628

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額85百万円には、セグメント間取引消去0百万円およびたな卸資産の調整額85百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	47,351	17,938	352	12,348	47,305	125,297	—	125,297
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,989	19	12	—	5,988	8,009	△8,009	—
計	49,341	17,958	364	12,348	53,293	133,306	△8,009	125,297
セグメント利益又は 損失(△)	4,320	712	△55	1,645	2,586	9,209	△78	9,131

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△78百万円には、セグメント間取引消去△0百万円およびたな卸資産の調整額△78百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。